

## 第一次の特定外来生物指定対象の評価一覧(爬虫類・両生類)

第一次の特定外来生物指定対象	被害の概要	評価の理由
カミツキガメ	捕食、競合駆逐 人の生命・身体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在来の淡水産カメ類より大型であり、肉食傾向が強いため、在来生物の捕食により生態系に被害を及ぼすおそれがある。</li> <li>・咬みつきによる人の身体への被害が大きいと考えられる。</li> </ul>
グリーンアノール	捕食、競合駆逐	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小笠原諸島ではチョウやトンボを始めとする昆虫等を活発に捕食しており、在来の生態系に被害を及ぼすおそれがある。</li> <li>・原産地では温帯まで分布していることから、本州中部以南で広く定着するおそれがある。</li> </ul>
ブラウンアノール	捕食、競合駆逐	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロリダ半島では在来のトカゲ類と競合し駆逐しているとの報告がある。</li> <li>・アメリカでは、徐々に北に分布を拡大しており、気候的には日本国内でも定着が可能で、定着すれば在来の生物相に影響を与えるおそれがある。</li> </ul>
ミナミオオガシラ	捕食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グアム島では本種が定着したことにより、多くの動物(特に鳥類)を捕食して絶滅させたことが知られており、我が国に定着すれば、在来の生態系に被害を及ぼすおそれがある。</li> </ul>
タイワンジロ	捕食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄島に定着し、分布を拡大しており、希少な種が多く生息するやんばる地域に分布が及ぶことが懸念されている。</li> <li>・哺乳類・鳥類を捕食する大型の捕食者であることから、在来の生態系に被害を及ぼすおそれがある。</li> </ul>
タイワンハブ	捕食 人の生命・身体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄島に定着し、分布を拡大しており、希少な種が多く生息するやんばる地域に分布が及ぶことが懸念されている。</li> <li>・哺乳類・鳥類・両生類等を広く捕食するため、在来の生態系に被害を及ぼすおそれがある。</li> <li>・外国産の毒蛇として唯一日本に定着しており、人への咬傷被害が懸念される。</li> </ul>
オオヒキガエル	捕食、競合駆逐、 毒による捕食者への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カエル類としては大型に成長し、昆虫を始めとする地表面の小動物を貪欲に捕食すること、また、体表から出る毒によって希少種を含む捕食者に影響を与えうることから、在来の生態系に被害を及ぼすおそれがある。</li> </ul>